



きたざわ えいげつ
北澤 映月

によにんまんじ
《女人卍》 1972年 彩色・紙 184.1×152.7cm

北澤映月は女性作家。「雅の美人画」と賞される一方で女性作家のまれな時代に日本画を志し、父母、師・土田麦僊を早くに亡くして制作する苦労は大きいものでした。この作品はこうした作家の女性賛歌の集大成。中央に歴史に翻弄され壮絶に生きた淀君、周りに細川ガラシャ（右上）、出雲の阿国（左上）、加賀千代女（左下）、樋口一葉（右下）。衣装は人柄や時代をも表し、降る桜の花びらは、美しく咲き、やがて散って行った女性たちを象徴しています。

- 1907年 京都に生まれる。
- 1923年 上村松園に師事。
- 1932年 土田麦僊に師事。
- 1936年 改組帝展初入選。
- 1938年 再興院展初入選、以後出品を重ね同人になる。
- 1970年 再興院展に《ねねと茶々》を出品、内閣総理大臣賞受賞。
- 1980年 再興院展に《朱と黒と》を出品、文部大臣賞受賞。
- 1989年 川崎で没。享年 82。